ADDZEST

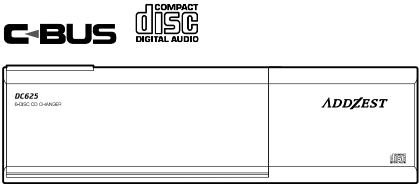
280-7730-00

6 ディスク CD チェンジャー

DC625

取扱説明書

C-BUS COMPACT disc DIGITAL AUDIO



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

● 安全に正しくご利用していただくため、ご使用の前にこの**「取扱説明書」**をよくお読みください。
● 保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

ご使用の前に

ご確認事項

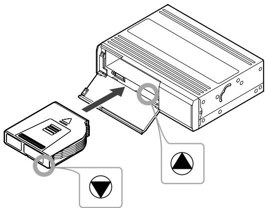
1. 本機は単体では動作しませんので、必ず別販のC-BUS結線対応センターコントロールデッキ、またはチューナー付デッキアンプ等、接続できる機種を確認のうえ、ご使用ください。
2. 本機はCOMPACT disc DIGITAL AUDIOの表示のあるコンパクトディスク以外のご使用はできません。
3. マガジンにコンパクトディスクを入れる場合は、『マガジンの使用方法』にしたがって入れてください。
4. CDシングルを再生するときは、必ず専用のCDシングルディスクホルダーCAA- 398（別販品）をお使いください。CDシングルの装着方法は、ディスクホルダーに添付されている取扱説明書をご覧ください。

ご注意
- **市販の CD アダプターは、使用できません。**

5. • ドアの奥にプレーヤーの心臓部であるピックアップが内蔵されています。特にこの部分にはホコリがつかないように、ドアを長い時間、開けた状態にしないでください。
   • 車内が極度に冷えた状態で、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、ディスクやピックアップに露がついて、正常な動作をしない事があります（結露）。ディスクに露が付いている時は、柔らかい布で拭き取ってください。ピックアップに露が付いてしまった時は、一時間程放置すれば自然に露が無くなり、正常な動作に復帰します。
6. システム動作中のケーブルやコードの抜き差しは、故障の原因となりますので絶対におやめください。必ず電源を切って（ACC-OFF）から行ってください。
7. CDマガジンは、直射日光やカーヒーターなどにより高温になりやすい所での保管は絶対に避けてください。万一曲がったり破損した場合は、新品のCDマガジン（CAA-397）とお取りかえください。

ご注意
- **以下のマガジンは、使用できません。使用するとメカニズムが故障し、マガジンがイジェクトできなくなります。**
  ＊12ディスクCDチェンジャー(CDR1255z,CDR1240Z,CDC1235など)のマガジン(CAA-122)
  ＊6 ディスク CD チェンジャー(CDR655Tz,CDR655z,CDR640Z など)のマガジン(CAA-355)

ご参考
- **本機に適合するCDマガジン(CAA-397)には、▼マークが表示されています。本機側のマガジン挿入口には ▲ マークが表示され、本機と CD マガジンが適合することを表しています。**



クラリオン株式会社
本　　社　　〒112-0001　東京都文京区白山5-35-2
TEL. 0120-112-140（フリーダイヤル）
お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ……ご購入年月日、ご購入店名などを記入しておくと、お問い合わせなどのときに便利です。

Printed in China　2001/7（C.C）　PA-2460A　280-7730-00

主な特長

■ **音質重視のデジタルサウンド**
8倍オーバーサンプリング・デジタルフィルターとデュアル1ビットDACにより、クリアなデジタルサウンドが楽しめます。

■ **ディスクオーバーラップ方式・メカニズム**
コンパクトサイズにするため、ディスクオーバーラップ・メカニズムを採用。車内のスペースをムダにしません。

■ **取付場所を選ばないコンパクトサイズ**
幅225mm×高さ63mm×奥行167mmのコンパクトサイズに加え、縦置き、横置き、45 ゜置きができる3ウェイ・セットアップ方式の採用により、シート下やグローブボックスなどの様々な場所に取り付けられます。

■ **振動に強いトリプルサスペンション方式**
悪路などの振動による不快な音飛びを最小限に抑える、トリプルサスペンション方式を内蔵しました。

■ **バックアップマガジンイジェクト機能**
車のキーを抜いた後でもマガジンを取り出せます。

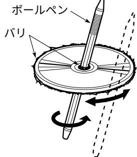
■ **C-BUSシステム対応**
センターユニットで集中コントロールできるC-BUSシステムです。

CD の取り扱いについて

COMPACT disc DIGITAL AUDIOマークが入った CD をご使用ください。
•ハート形や八角形など、特殊形状の CD は使用しないでください。
•CD-R/CD-RWで記録されたディスクは使用できない場合があります。

取扱上のご注意

● ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンで文字などを記入しないでください。
● CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
● ディスク面には、傷や指紋をつけないように扱ってください。
● 新しいCDには、周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDを使用すると、動作しなかったり、音飛びの原因となります。バリのあるCDは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



保管時のご注意

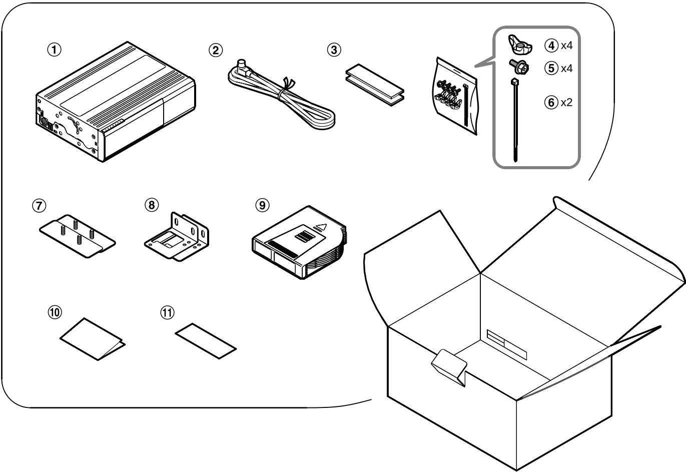
次のような場所には保管しないでください。
● 直射日光のあたる場所
● 湿気やホコリの多い場所
● 暖房の熱が直接当たる場所

お手入れ

● 汚れたときは、やわらかい布で、内側から外側に向かって、よくふいてください。
● 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどは、使用しないでください。
● CD 専用クリーナーを使用した場合は、よく乾燥させてからお使いください。

ご注意
- **市販の CD 保護シートや、スタビライザー等を装着した CD は使用しないでください。メカニズム内部で引っ掛り等が発生し、CD を傷つける場合があります。**

製品構成



① 本体（DC625）
② C-BUSケーブル（5m）.................. 1本
③ クッションラバー.................. 2枚
④ ウイングナット.................. 4個
⑤ ダブルセムス六角ボルト.................. 4本
⑥ 結束バンド.................. 2本
⑦ ボルト付取付ブラケット.................. 2個
⑧ 取付ブラケット.................. 2個
⑨ マガジン（CAA-397）.................. 1個
⑩ 取扱説明書.................. 1部
⑪ 保証書.................. 1部

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△	**△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中などには具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。**
⃠	**⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中などには具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。**
❗	**❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。**

安全上のご注意

● **安全のため、ご使用の前に以下のご注意と『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**
● **お読みになったあとは、いつでも見られる所（グローブボックス等）に必ず保管してください。**

■使用上のご注意

⚠ 警告

● **走行中は運転者による操作をしない・・・**
運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

● **本機を分解したり、改造しない・・・**
事故や火災、感電の原因となります。

● **音が出ないなどの故障状態で使用しない・・・**
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

● **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなど異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する・・・**
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

● **本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する・・・**
専門技術と経験が必要です

⚠ 注意

● **運転中の音量は、車外の音が聴こえる程度で使用する・・・**
車外の音が聴こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

● **本機を車載用以外には使用しない・・・**
感電やケガの原因となることがあります。

● **マガジン挿入口に手や指を入れない・・・**
ケガの原因となることがあります。

● **マガジン挿入口に異物を入れない・・・**
火災や感電の原因となることがあります。

● **開閉部などの樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない・・・**
部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

お取り付けいただく方へ

■取付上のご注意

⚠ 警告

● **取り付ける車のバッテリー電圧を確認する・・・**
車載用機器は 12V 車用と 24V 車用があります。12V 車用機器を 24V 車に誤って取り付けた場合には、火災や故障などの原因となります。

● **配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルを外す・・・**
ショート事故による感電やケガの原因となります。

● **車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意する・・・**
パイプ類などの破損により、火災や故障などの原因となります。

● **接続コード類の配線は高熱部を避けて行う・・・**
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。

● **本機を次のような場所に取り付けない・・・**
運転操作を妨げたり、外れたりして、交通事故やケガの原因となります。
- 前方の視界を妨げる場所
- ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所
- 同乗者に危険を及ぼす場所

● **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく・・・**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

⚠ 注意

● **正規の接続をする・・・**
誤った接続をすると、火災や事故の原因となることがあります。

● **必ず付属の部品を指定通り使用する・・・**
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして、事故や故障などの原因となることがあります。

● **コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで固定する・・・**
コード類が車体部分との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。

● **車体に穴を開けてコード類を配線するときは、絶縁性グロメットを使用する・・・**
開口部とコード類との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。

● **雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこりの多いところへは取り付けない・・・**
本機に水や湿気、ほこりが混入すると発煙や発火の原因となることがあります。

● **振動の多いところなど、確実に固定できないところには取り付けない・・・**
外れて事故やケガの原因となることがあります。

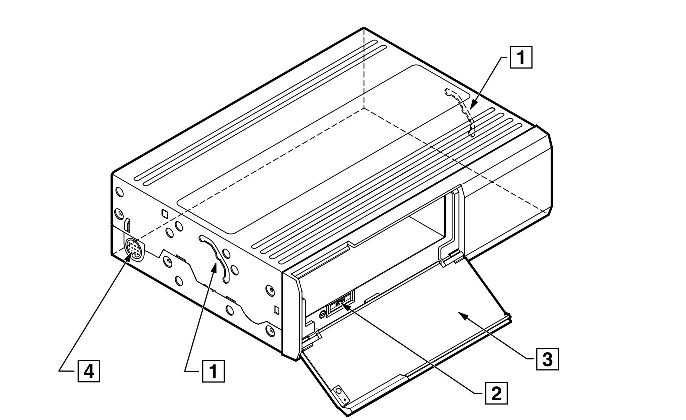
● **本機の通風穴や放熱部をふさがない・・・**
通風穴や放熱部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● **車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない・・・**
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

● **車体の重要保安部品（ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、ガソリンタンクなど）に取り付けられているボルトやナットは絶対に使用しない・・・**
これらを使用すると制動不能や故障、発火の原因となることがあります。

● **車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締め付ける・・・**
ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。

各部の名称



1 **取付方向切換レバー(2ケ所)**

2 **イジェクトボタン(EJECT)**
ボタンを押すとCDマガジンがイジェクトされます。

3 **フリップダウン・ドア**

4 **C-BUS端子(13ピン)**

システム例

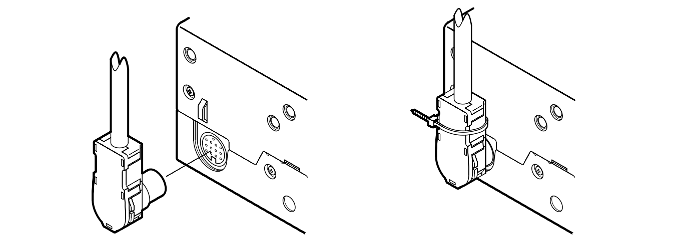
• **本機の 13 ピン C-BUS ケーブルは、センターユニットと接続してください。**



取り付ける前に

ご注意
• **取り付ける時には、必ず付属のネジとブラケットをご使用ください。指定以外のネジを使うと故障の原因となります。**

• 13ピンC-BUSケーブルの接続は、根元まで確実に差し込んでください。
• 接続後、ケーブルを図のように結束バンドで固定してください。
• グローブボックスやコンソール内に取り付ける場合は、本機のケーブルがフリップダウン・ドアの開閉の妨げにならないことを確認してください。



取付方法

取り付けの前に

1. 本機を取り付ける前に、本体裏面の輸送保護用のロックピン(3箇所)を取り外します。
   ＊時計方向または反時計方向に90度位ひねってから、上に引き抜くと簡単に取り外せます。
   ＊取り外したロックピンは、後日のため大切に保管してください。

ご注意
• **本機を修理などで輸送するときは、ロックピンを取り付けてください。**

2. 取付場所を選び、取付方向を決めます。
   ＊取り付ける場所は、頑丈な所を選んでください。

3. 先の細いペンなどを使って、取付方向切換レバーを取付方向に合わせます。
   ＊工場出荷時は、横置き(H)になっています。

● **取付方向切換レバーの設定**

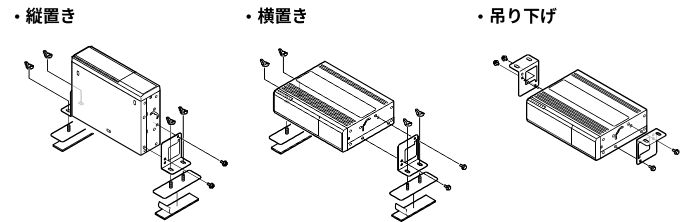
H：横置き	45：傾置き	V：縦置き
本機の両側にある、取付方向切換レバーを“ H ”の位置に合わせます。	本機の両側にある、取付方向切換レバーを“ 45 ”の位置に合わせます。	本機の両側にある、取付方向切換レバーを“ V ”の位置に合わせます。

ご注意
• **取付方向切換レバーは、確実にセットしてください。決められた位置（両側とも同じ位置）にセットされていないと音飛びの原因となります。**
• **以下のような状態のときは、故障や破損の原因となりますので、取付方向を切り換えないでください。**
  * **本機が動作しているとき**
  * **本機にマガジンが挿入されているとき**

取付手順

1. 取付方向に合わせ、取付ブラケットを本機に合わせてから、付属の取付ネジで取り付けます。

2. 本機に取り付けた取付ブラケットに、ウイングナットでボルト付取付ブラケットを仮止めし、ボルト付取付ブラケットにクッションラバーを貼ります。



3. フロアカーペットをめくり、取付位置を決め、クッションラバーのセパレータをはがして固定します。

4. ウイングナットを外して、本機を取り外します。

5. フロアカーペットを元に戻して、ボルトの当たる部分にカッターナイフなどで切り込みを入れ、ボルト部をカーペットの表に出します。

6. 本体をボルトに合わせて、ウイングナットで固定します。

＊上記以外の取り付けを行うときは、販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

フロアカーペット

マガジンの使用方法

CD の入れかた

1. ディスクホルダーの引出ノブに指をかけて、引き出します。

2. CD のレーベル面(タイトル等の印刷された面)を上にして、ディスクホルダーの凹部に入れます。

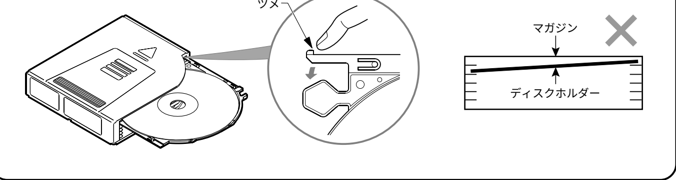
3. ディスクホルダーが、マガジンにロックするまで確実に押し込んでください。CD を入れた後は、CD が正しく装着されているか確認してください。

マガジン　引出ノブ　ディスクホルダー　CD(レーベル面)　ディスクホルダー

ご注意
• **マガジンの挿入口から見て、CD やディスクホルダーが傾いていないことを確認してください。**
• **ディスクホルダーが奥まで入らないときや入れにくいときは、CDが正しく入っていない可能性がありますので、もう 1 度入れ直してください。**

CDシングル(8cm)の場合
• **CDシングルを再生するときは、専用のCDシングルディスクホルダー(別販：CAA-398)をお使いください。CDシングルの装着方法は、ディスクホルダーに添付されている説明書をご覧ください。市販のアダプターは使用できませんので、ご注意ください。**

ご注意
• **ディスクホルダーを強く引くと、マガジンから外れる場合があります。ディスクホルダーが外れたときは、ホルダーのツメを押しながらマガジンへ入れ直してください。**
  ＊ツメは必要以上に強く押さないでください。
  このとき、ディスクホルダーを段違いに入れないように注意してください。



CD の取り出しかた

1. ディスクホルダーを引き出して、CD を取り出します。

ご注意
• **CD を取り出す際に、CD の信号面に指が触れないように注意してください。**

引出ノブ

マガジンの入れかた

1. 本機のフリップダウン・ドアを手前に開けます。

2. マガジンは表面を上にし、CDの出し入れ口を右側にして本機へ入れます。この時、マガジンが本機にロックするまで確実に押し込んでください。

3. 本機のフリップダウン・ドアを閉めます。

マガジン　1.　2.　フリップダウン ドア　CD出し入れ口

マガジンの取り出しかた

1. 本機のフリップダウン・ドアを手前に開けます。

2. イジェクトボタンを押して、マガジンを取り出します。

フリップダウン ドア　イジェクトボタン

ご注意
• **ゴミやホコリが本機内部に入ると、故障の原因となります。本機のフリップダウン・ドアは、マガジンの出し入れが終わったら必ず閉めてください。**

故障と思われる前に

現　象	原　因	処　置
電源が入らない センターユニットで接続が認識されない	誤配線または接続が不完全	配線をお確かめください。また、ケーブルをもう一度接続し直してください。
マガジンが入らない	入れる向きが違う	正しい向きに入れ直してください。
	セットの中にマガジンが入っている	イジェクトボタンを押して、マガジンをイジェクトしてください。
	マガジンが変形している	販売店で別販のマガジン(**CAA-397**)をお買い求めください。
CDをサーチさせると「NO DISC」(ディスクなし)の表示がでる	マガジンのCDが裏返しに入っている	「CDの入れかた」の項をよく読んで、CDを正しく入れ直してください。
	CDが汚れている	CDの汚れをふき取ってください。
再生音にノイズが発生したり、音飛びがする	CDにキズやソリがある	キズやソリのないCDと交換してください。
	CDが極端に汚れている	CDの汚れをふき取ってください。
	両側面の取付方向切換レバーの位置が違っている	両側面の取付方向切換レバーの位置を同じ位置に合わせてください。
	本機の取付方向と取付方向切換レバーの位置が合っていない	本機の取付方向と取付方向切換レバーの位置を合わせてください。 また、傾けて取り付けたときは、取付方向切換レバーの位置(H、45、V)を換えてノイズや音飛びのない位置に合わせてください。
メカニズムが動作しない	メカニズムのエラー	•「取付方法」の項をよく読んで、取付角度の位置を確認し、取付方向切換レバーを正しい位置に合わせてください。 • イジェクトボタンを押して、マガジンを入れ直してください。
本機にマガジンを入れてもイジェクトされてしまう	ディスクホルダーが、マガジンに正しくセットされていない	「CDの入れかた」の項をよく読んで、ディスクホルダーを正しく入れ直してください。

■ **以上の確認を行なっても同じ現象となる場合やマガジンが取り出せないときは、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。**

仕様

再生方式	：マガジン方式、コンパクトディスクチェンジャー
チャンネル数	：2チャンネル(ステレオ)
周波数特性	：5Hz～20kHz(±1dB)
SN比	：105dB(1kHz)IHF･A
高周波歪率	：0.01%(1kHz)
チャンネルセパレーション	：90dB(1kHz)
ワウ・フラッター	：測定限界以下
出力レベル	：3.0V/負荷10kΩ(平衡出力)
電源電圧	：DC14.4V(10.8～15.6V)(－)接地
消費電流	：1A以下
質量	：1.65kg
外形寸法	：225(W)×63(H)×167(D)mm

※これらの仕様およびデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■ **保証書…**
この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入致しますので、記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
※保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ **保証期間…**
お買い求めの日より1年間です。
保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合、保証書の記載内容に基づいて無料で修理いたします。

■ **万一故障が発生した場合…**
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■ **保証期間経過後の修理…**
修理することにより性能維持ができる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。